

釧路工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	公共A	
科目基礎情報							
科目番号	0007			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電子工学分野			対象学年	1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	☆教科書：矢野智司ほか『高等学校 公共―これからの社会について考える』（数研出版、2021年） ☆副教材：数研出版編集部編『教科書準拠版 高等学校 公共―これからの社会について考える 整理ノート』（数研出版、2021年） ☆参考書：『ライブ！現代社会 2021』（帝国書院、2021年）						
担当教員	細見 佳子						
到達目標							
1. 民主政治・日本国憲法と統治機構についての基礎知識を身につける。 2. 選挙・政党・地方自治・政治参加についての基礎知識を身につける。 3. 国際政治の基礎知識を身につける。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安(優)			標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)	
評価項目 1	民主政治・日本国憲法と統治機構についての基礎知識が十分に身についている。			民主政治・日本国憲法と統治機構についての基礎知識が身についている。		民主政治・日本国憲法と統治機構について理解できておらず、それらの基礎知識が身につけていない。	
評価項目 2	選挙・政党・地方自治・政治参加についての基礎知識が十分に身についている。			選挙・政党・地方自治・政治参加についての基礎知識が概ね身についている。		選挙・政党・地方自治・政治参加についての基礎知識が身につけていない。	
評価項目 3	国際政治の基礎知識が十分に身についている。			国際政治の基礎知識が概ね身についている。		国際政治の基礎知識が身につけていない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 A							
教育方法等							
概要	公共Aでは、政治学・日本国憲法・統治機構・国際政治を勉強します。中学校までに習った事項を、背景知識やより詳細な事例を紹介することで、深く理解していきます。						
授業の進め方・方法	【授業の進め方】まずは講義形式で行い、知識を身につけたうえで、ワークブック『公共 整理ノート』で理解を深めます。グループ討論を行うこともあります。 【評価方法】公共Aに関しては、全3回の小テストの成績を総合して、得点が満点の6割に達した者を合格とします。基準に達しない場合には、課題提出もしくは再試験を実施し、60点以上を合格とします（最終評定は60点）。 ⇒最終的には、「公共A」と「公共B」の評価を合算し、「公共」として評価します。 【関連科目】社会科の科目群						
注意点	・教科書と副教材は必ず毎回持参すること。毎回到り持参しない場合は、減点の対象とします。 ・理由のない遅刻・欠席は減点の対象となります。 ・携帯電話・スマートフォンの電源は切っておくこと。 ・居眠りはしないこと。 ・他の学生に迷惑となる行為や、授業の妨げとなる行為は慎むこと。 ・1回目のガイダンスで、さらに詳しい説明を行います。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス 民主政治と基本的人権		授業の概要と進め方、ルール、目標を理解できる。民主政治と基本的人権を理解できる。		
		2週	権力分立と法の支配		権力分立と法の支配を理解できる。		
		3週	日本国憲法と基本原理		日本国憲法と基本原理を理解できる。		
		4週	平等権・自由権		平等権・自由権の概念と判例を理解できる。		
		5週	社会権・参政権・請求権		社会権・参政権・請求権を理解できる。		
		6週	人権の広がり		「新しい人権」を理解できる。		
		7週	国会のしくみと役割		国会のしくみと役割を理解できる。		
		8週	内閣のしくみと行政機構		内閣のしくみと行政機構を理解できる。		
	2ndQ	9週	選挙の役割と意義		選挙の役割と意義を理解できる。		
		10週	政党の役割		政党の役割を理解できる。		
		11週	地方自治の現状と課題		地方自治の現状と課題を理解できる。		
		12週	世論の形成と政治参加		世論の形成と政治参加を理解できる。		
		13週	国際社会と国際法		国際社会と国際法を理解できる。		
		14週	戦後の国際情勢		戦後の国際情勢を理解できる。		
		15週	現代の国際紛争		現代の国際紛争を理解できる。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

基礎的能力	人文・社会科学	社会	公民的分野	自己が主体的に参画していく社会について、基本的人権や民主主義などの基本原理を理解し、基礎的な政治・法・経済のしくみを説明できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15	
			現代社会の考察	現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できる。	3	前4,前5,前6,前11,前12,前15	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100